萩ジオパーク
推進協議会だより vol.94

萩ジオパーク推進協議会
｜2023年1月1日発行｜

〒758-0041
山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階
0838-21-7765 0838-25-7767
geo@city.hagi.lg.jp
https://hagi-geopark.jp
https://www.facebook.com/HagiGeoProject

新年おめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

令和4年、萩ジオパークは、日本ジオパークネットワークに正式加盟してから初めてとなる日本ジオパーク委員会（JGC）の再認定審査を受け、再認定されました。これはこの4年間、学校や地域において、多様な講座や工夫を凝らしたオンラインや現地のツアーを実施し、大地や生態系と人の暮らしのつながりを伝えてきた結果、ジオパークの考え方に共感してガイドやパートナーとなって活動する人が少しずつ増えてきたことが評価されたものです。これまで活動に取り組んでこられた皆様方に敬意を表するとともに、ご支援をいただいた関係各位に深くお礼申し上げます。

さて、新たな年を迎え、令和5年は正式加盟認定5周年となります。これまでの活動に加えて多くの観光客や修学旅行生にもジオパークの楽しみを提供できるような体制の拡充や、9月中旬に記念イベントを開催するなど情報発信強化に努め、萩ジオパークの認知度向上につながる取組みを進めてまいります。今後もジオパーク活動の推進により、より多くの方々が萩ジオパークを訪れ、新しい萩の魅力を体験できるように取り組んでまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

萩ジオパーク推進協議会事務局

東京進出！日本科学未来館のイベントに登壇

12月10日に東京の日本科学未来館で開催されたイベント「VRでさぐる！東京のデコボコ地形と大地のヒミツ」に、専門員の白井が講師として参加しました。
CGで立体的に表現された東京の地図を使い、大地の性質とうまく付き合いながら発展した東京の魅力に迫るというもの。参加者の皆さんがそれぞれVRゴーグルを着用し、バーチャル空間で地形を堪能しました。
最初に白井から萩の町並みや特産品と大地のつながりを紹介して、今回の肝となる“視点”を提供しました。その後に、もう一人の講師である地球科学可視化技術研究所 所長の芝原暁彦さんが作ったバーチャル空間にみんなでダイブ！なんと、今回のために萩の３D地形モデルを作ってくださいました！VRでお客さんを案内するのは初めての経験でしたが、鳥の目線で地形を眺める新しいスタイルのジオツアーになりました。
そのあとは芝原さんにバトンタッチして、東京の地形を案内していただきました。ビルが立ち並ぶ大都会ですが、地形を立体的に観察すると東側は川や海が作った低くて平坦な土地が広がり、西側は谷が複雑に入り組む台地になっています。成り立ちは異なりますが、東京も萩と同様に、地形や地質の特徴をよく見極めて設計されていることが分かりました。
ジオパークの活動は地球と人の未来のためのもので、地方での活動に留まることなく、東京などの大都会に暮らす人々にまで広がってほしいと思っています。日本科学未来館さんと繋がることができたことも嬉しいですし、東京の皆さんにも活動に共感していただけるという確かな手ごたえを感じる貴重な機会となりました。

阿蘇ユネスコ世界ジオパークで講演しました

12月13日に阿蘇地域振興デザインセンター主催のセミナーで、白井専門員が講演をしました。
「萩ジオパークのつくり方～土地と人、人と人がつながる場づくり～」と題して大地と人の営みを紐解くジオパークの視点を萩の事例を交えて紹介しました。萩城下町の古地図と地形図を見比べて、変化する大地と共に暮らす先人の知恵を見つけてもらったり、阿蘇で大地と人のつながりを実感できる観光コースやお土産物を考えてプレゼンしてもらったり、参加者の皆さんとお話しながらの楽しい時間となりました。阿蘇は九州全土に大きな影響を及ぼした巨大活火山で、萩市川上や山口市徳地まで火砕流が到達したという、萩ジオパークとしては縁を感じる地域です。一目でカルデラとわかる圧倒的景色、文化の軸にある火山信仰、そしてこの大地と共生する手段として育まれた牛との暮らし、野焼き…。萩からみんなで遊びに行きたいですね。

萩ジオアカデミー2022
＃特別編 を開講しました

12月18日山口大学太田岳洋教授を講師にお招きし、「萩ジオアカデミー2022 ＃特別編 新発見！阿武町奈古の炭酸泉のナゾ」を開催し、28名の方が参加されました。午前は阿武町町民センターで、奈古で見つかった炭酸泉とトラバーチンについての調査結果などのお話を聞き、昼食では地元阿武町のね～ね～ずさんのお弁当を味わい、午後からは山口大学大学院生の井上さんにもお手伝いいただき小雪が舞う中、実際に炭酸泉とトラバーチンの現場を訪れました。地元の方からも「知らなかった」、「よく見つけたな」など驚きの声があがっていました。寒い中でしたがとても有意義な1日となりました。

地球を食べる食堂
～ 青野山火山群と徳佐りんご編 ～

12月4日、山口市阿東地域にて「地球を食べる食堂～青野山火山群と徳佐りんご編～」を開講し、15名が参加しました。
まずは岡崎りんご園にて徳佐りんごの収穫体験。今回は、天候の関係でりんごの収穫が遅れていたため、収穫体験を行うことができました。りんご園の岡崎裕一さんに、食べ頃のりんごの特徴や収穫の仕方を教えてもらい、園内で早速体験。収穫したりんごは購入することができ、皆さん目星のりんごを見つけてはカゴに入れ、たくさん購入していました。収穫した後は、岡崎さんに徳佐のりんごの特徴や作業で大変なことなど知りたいことがいっぱいあったようで、時間いっぱい岩崎さんに質問していました。
次に向かったのは船平山展望台。船平山展望台からは広大な徳佐盆地を眺めることができます。ここでは白井専門員の青野山火山群と徳佐盆地の成り立ちを手作りのキットを使って説明しました。説明を聞く前と聞いた後では目の前に見える徳佐盆地が変わったようで、皆さん感嘆としていました。
最後に、阿東文庫でランチ。阿東文庫は廃校になった小学校を活用し、所有者の事情で捨てられない本や捨てられるはずだった本を集めて図書館のようになった場所です。阿東文庫にはコミュニティスペースがあり、ここであとう畑+（プラス）の浅田さんお手製のお弁当を食べました。ふんだんに徳佐りんごが使われた美味しいおかずとりんごソースのかかったタコライスという普段滅多に食べることのないりんごづくしのお弁当に舌鼓を打っていました。食後には、阿東文庫を管理しておられる明日香健輔さんに湧き水を使って淹れたコーヒーを提供して頂きながら、阿東文庫がどういう役割を果たしているのかを説明して頂きました。
今回、数年ぶりに阿東地域で開講した地球を食べる食堂。皆さん大満足で「また参加したい」という声もたくさん聞きました。来年度も阿東で開講できたらと思います。

出 前 講 座

11/22

山口県社会教育主事研究会

山口県の各地で活動されている社会教育主事の方々の集まりで、講演や火山実験を体験していただきました。

大井地区教育講演会

大井の教育を考える連絡協議会さんにお招きいただき、「大井の大地と人の物語」というタイトルで講演をさせていただきました。

11/26

明倫小学校５年生出前授業

KRYさんが取り組む海と日本プロジェクト「ぶち海体験隊Ⅲ イカす海を未来に！」の一環で、白井専門員と水産大学校の若林教授が5年生100人に講演をしました。

11/29

大井小中学校出前授業

６年生理科「土地のつくりと変化」の単元で、11月にやった火山実験に引き続き、プレートの動きで大地がつくられる“付加体実験”を行いました。

12/20

萩ジオアカデミー＃03

解き明かそう！ しましま模様の崖の秘密

しましま模様の崖が印象的な「須佐ホルンフェルス」。どうしてあんな模様が出来たのでしょう？ 実験や現地の観察で、絶景誕生の秘密を解き明かしましょう。

- 日時：1月21日（土）10時～15時
- 場所：田万川コミュニティセンター（江崎公民館）
- 講師：白井 孝明（萩ジオパーク・専門員）
- 定員：20名（先着順）
- 参加費：1,000円（昼食・保険・資料代）
- 申込：電話（0838-21-7765）またはホームページより お申し込みください。
- 締切：1月16日（月）まで
- 備考：須佐ホルンフェルスでは足元が悪い場所がありますので、歩きやすい服装でご参加ください。

1月の予定

- 萩ジオアカデミー 解き明かそう！しましま模様の崖の秘密

※詳細は上記を参照

今月号の4コマ漫画「がんばれ！半田くん」はお休みします。